

コミしんまつやま

○これからの松山地域のために

松山地区コミュニティ振興会連絡協議会 会長 斎藤 吉男

先日行われた各地区運動会は天候にも恵まれ、多くの住民の方々が互いに交流を図ることができたのではないのでしょうか。松山小学校・東部中学校の児童生徒、保護者の皆様、地域の自治役員の皆様に改めて感謝申し上げます。また、松山小学校の教職員の皆様にも併せて御礼申し上げます。

さて、松山地区コミュニティ振興会連絡協議会の総会が4月25日に開催され、全ての議案が承認されました。今年度も地域全体の連絡調整の場として互いに地域を高めるためにどのような取り組みが必要なのかを話し合っていきます。

当会の課題としては、当会が受け皿となっている酒田市の体育振興事業（市民体育祭・巡回駅伝）への対応、武者行列や狂言など地域の伝統の継承・保護などが挙げられます。各関係組織と様々な面で話し合いを持ちながら、知恵を絞っていきたいと考えています。

またその課題解決の為に、各コミュニティ振興会事業のより一層の充実が必要になるかと思えます。世代を超えたコミュニケーションが人と人を繋ぐと考えておりますので、コミ振事業への参加とご協力をお願い致します。

最後に旧松山町の公設民営の公民館時代から昨年度まで南部コミュニティ振興会に勤められた奥山均さんが退職されました。松山地域の社会教育の先駆者として、当会にもご尽力を頂きました。心からの感謝を申し上げますと共に、今後とも、良きアドバイスを賜りますようお願い申し上げます。



○地域コミュニティのちから

松山総合支所地域振興課 支所長兼地域振興課長 遠藤 裕一

今年の6月3日（日）は、3つの地区でそれぞれ大運動会が開催されました。昨年度、松山地域の小学校が統合し、新しい「松山小学校」となり、地元小学校がない中での開催で、盛り上がり心配されていたところですが、昨年度は生憎の雨模様で室内開催となったため、本来の影響はわかりませんでした。今年は、天候に恵まれ絶好の運動会日和のなかでの開催となり、各地区とも特色ある種目や応援などで大いに盛り上がりを見せ、大成功だったと思います。

これは、主催する各コミュニティ振興会役員や、自治会長をはじめとした地域住民のみなさんの地域を盛り上げようという熱意があったからではないのでしょうか。それからもうひとつ、東部中学校及び松山小学校の変わらぬ地域活動への理解と支援があるからこそだとも考えました。子どもたちは各地区の会場で競技に参加、特に中学生はいつもの年より多く来場され運営に協力していたようです。地域住民が一堂に集い、交流する場はそんなにはないものです。こんなところからも地域のコミュニティのちからは構築されるのかしれません。運動会は、大切にすべき行事だと改めて認識したところでは。

さて、現在、松山総合支所に勤務する職員は昨年と変わらず29名です。市行政の窓口と親しんでいただけるよう、また「松山の宝を活用したイベント」や「集いの場づくりなどの健康長寿活動」などを展開しながら、また地域のちからの拠点となる4つのコミュニティ振興会とも力を合わせ、地域の元気づくりに日々努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

